

つれづれなるまゝに 第10号

平成30年 9 月 3 日（月）発行



校長 深谷 浩一

君は夏休みをどう過ごしたか？ ～蓄えた力をこれからの学校生活に活かして～

1 学期の終業式は、野球の試合が勝ち上がっていたために、1 日早く実施しました。今年の野球の大会では、中央高校らしい全員野球で、ベスト 8 まで勝ち上がり、準々決勝で常総学院に敗れてしまったものの、本当に素晴らしい試合を見せていただき、卒業生や小美玉市民に感動を与えてくれました。改めて野球部の選手諸君の健闘を讃えます。

さて、1 学期の終業式の時に、夏休みを迎えるにあたって、皆さんに 3 つのことをお願いしました。覚えているでしょうか。

一つ目は、「一日一日精一杯生きよう！」ということでした。どうでしたか。一日一日精一杯生きられたでしょうか。読書であれ、部活動であれ、受験勉強であれ、「もうこれ以上はできない」というところまで頑張った日はどのくらいあったでしょうか。

二つ目は、「メリハリのある生活をしよう！」ということでした。計画表を作って生活することはメリハリのある生活をする上で大切なことだという話をしましたが、予定表通りに進まなかったときに、途中で軌道修正しながら進めることができたでしょうか。

最後の三つ目は、「一日の最後に『振り返り』の時間をもとう！」ということでした。果たして、振り返りの時間を作ることはできましたか。

この 3 つのことに取り組んだ人はいずれ必ず成果は表れてきますので、引き続き、取り組んで貰えたら、ありがたいです。



さて、今日から 2 学期が始まります。3 年生はいよいよ進路希望の実現に向けたラストスパートの時期を迎えます。

就職希望者は、今月から始まる就職試験に向けて、企業訪問、履歴書の仕上げ、面接試験の準備など、最終準備段階を迎えています。「最後まで諦めない」姿勢で頑張ってください。

また、進学希望者は、毎日朝早くから夕方まで課外授業や模擬試験に取り組み、通常の授業日以上ハードな日々を過ごしてきたと思いますが、その努力は必ず実を結ぶことを信じています。

部活動においては、今年は異常な猛暑で体調管理も大変だったかと思いますが、そんな中、新体操部が国体の関東ブロック予選大会で県で 3 位に入賞し、10 月に開催される福井国体に出場できることが決まりました。その壮行会については、追って計画します。

それ以外の部活動においても、3 年生が抜けた後の新チームで、それぞれ事故もなく練習に励んだことと思います。秋の新人戦等において、成果として表れてくることを期待しています。

また、この休み中は小美玉市等の主催によるボランティア活動に多くの生徒たちが参加してくれました。8 月 25 日に開催された小美玉市ふるさとふれあいまつりでは、本校 JRC 同好会の皆さんが西日本豪雨被害への義援金の募金に参加して、炎天下の中、終日活動を行ってくれました。また、このふれあいまつりには、吹奏楽部の皆さんも市内の唯一の高校として参加し、さらに翌日は、石岡市の老人ホームロイヤルハウス石岡から招待を受け、素晴らしい演奏を披露してくれました。ありがとうございました。さらに、羽鳥保育所での保育実習に参加し、貴重な体験をした生徒のみなさんもいました。皆さんの仲間の活動の一部を紹介しましたが、そのほかの皆さんも普段の学校生活では得られないようなことを学ぶことができたのではないかと思います。

今日からまた、普通の学校生活に戻りますが、これまで皆さんが蓄えた力をこれからの学校生活のいろいろな場面で発揮していただけることを心から期待しています。（9 月 3 日（月）の始業式での「校長講話」の抜粋。）